

空中レビュー時代（1933）

FLYING DOWN TO RIO

メディア 映画
ジャンル ミュージカル
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 89分
初公開日 1934/05
公開情報 劇場公開

【解説】
南米リオを舞台に、ラテン系美人と、彼女に恋したバンド・リーダー、そして彼女の婚約者の三角関係を描く、D・リオとG・ロジャース主演の“唄あり踊りあり”のロマンス映画。この“唄と踊り”の部分、その他の要素が色あせても、いまだ観客を惹きつけ続けている。なぜなら、そこにアステア&ロジャースの存在があるからだ。V・ユーマンスによる挿入歌“カリオカ”に合わせタップを踏む二人。初めてコンビを組んだ彼らのスター性に気づいたRKOは、以後八本の彼らの主演作を立て続けに製作する。バスビー・バークレイを意識した、複葉機の翼上でのレビューも圧巻のクライマックスだ。

【クレジット】
監督 ソーントン・フリーランド Thornton Freeland
製作 メリアン・C・クーパー Merian C. Cooper
原作 ルイ・ブロック
脚本 シリル・ヒューム Cyril Hume
H・W・ハネマン H.W. Hanemann
アーウィン・ゲルシー Erwin Gelsey
撮影 J・ロイ・ハント J. Roy Hunt
作詞 エドワード・エリシュー Edward Eliscu
ガス・カーン Gus Kahn
音楽 ヴィンセント・ユーマンス Vincent Youmans
マックス・スタイナー Max Steiner
出演 ドロレス・デル・リオ Dolores del Rio
ジンジャー・ロジャース Ginger Rogers
フレッド・アステア Fred Astaire
ジーン・レイモンド Gene Raymond